

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を行った場合の、制度及び記録の整備が不十分である点	・身体拘束を行った際の制度及び記録の指針を充実させる	・身体拘束における同意書の作成 ・身体拘束を行う上での必要な記録の書き方、観察点、カンファレンスの実施について身体拘束時の指針を作成する	6ヶ月
2	33	グループホームかしの木における重症化に関する指針説明書の内容が具体性及び緻密性に欠けている点	・左記の説明書の内容を具体性及び緻密化したものに改善する	・左記の説明書の内容の見直し ・内容に実際に重症化した際の流れ等を追加する ・家族、医療機関の連携について内容を追加する	6ヶ月
3	26	計画書の様式がグループホームの計画書として不十分、個別計画の具体性の欠如、スタッフ間での内容共有が不十分である点	・計画書の適正化、個別計画の具体性あるものに改善、スタッフ間で問題点を共有できる	・評価表の活用 ・計画書をグループホーム内の様式に変更 ・個別計画を見直し、具体性があるものに変更 ・ミーティングや申し送り時等で、利用者の問題点を共有する	6ヶ月
4	1	事業所理念が入居者に分かりやすく、目に付く所に掲示されていない点	・事業所理念を入居者に分かりやすい内容に改善し、目に付く場所に設置する	・入居者、職員と一緒に、分かりやすい理念を作成する ・フロアに理念を掲示し、利用者、職員の目に付くようにする	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。